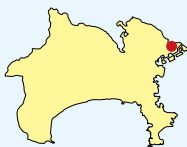


1 南渡田産業拠点

— マテリアルから世界を変える産業拠点 —



○問合せ先 川崎市臨海部国際戦略本部戦略拠点推進室(地区全体に関すること) ☎(044)200-2056
 ヒューリック株式会社バリューアップ事業部(北地区北側に関すること) ☎(03)5623-8099

●南渡田地区

日本有数のコンピナートである川崎臨海部の西側にある本地区は、川崎駅から約3km、羽田空港から約5kmの距離に位置し、近隣にはJR浜川崎駅及び首都高速横羽線浜川崎出入口があり、地理的利便性に優れた地区です。また、東京大師横濱線(産業道路)を挟み住宅地と隔絶された工業地帯であることから、都心近くにありながら本格的な研究や実証・実験が可能な地区となっています。

今後、川崎臨海部で新たに生じる400ヘクタールに及ぶ大規模な土地利用転換の先鞭となる本地区で、2027年度、賃貸型R&D施設を中心とした新たな産業拠点がオープンします。また、R&D施設のほか、研究者の交流エリアや商業施設、居住施設、公園を備え、オープンイノベーションの推進や研究者の生活に寄り添った産業拠点を目指しています。

本地区では、川崎臨海部の立地企業や国の政策との連携を見据え、マテリアル(素材)産業を中心とした産業集積を目指しています。周辺には、ライフサイエンスの一大拠点である「キングスカイフロント」や、日本初のゲート型商用量子コンピューターが設置されている「新川崎創造のもり」が研究開発拠点を形成しており、これらの拠点との連携による相乗効果も期待できるポテンシャルにあふれる地区です。

●南渡田産業拠点の概要

所在地	川崎市川崎区南渡田1-1
全体面積	52ha(うち先行地区5.6ha)
賃貸面積	約95,000㎡ (先行地区に賃貸型R&D施設を整備)
交通	鉄道 JR南武支線浜川崎駅・JR鶴見線浜川崎駅から徒歩3分
	道路 首都高速横羽線浜川崎出入口から車で1分
用途地域	工業地域(先行地区)
上水	市営水道(先行地区)
排水	公共下水道(先行地区)
電気	高圧、特別高圧(先行地区 予定)
募集方法	随時
スケジュール	2027年度竣工(先行地区)
URL	川崎市公式ホームページ https://www.city.kawasaki.jp/590/page/0000117648.html

●スケジュール

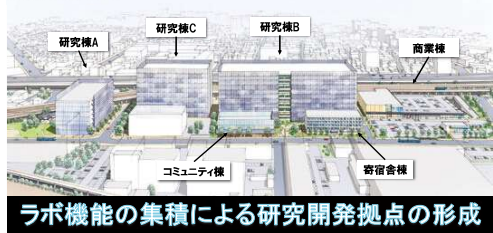
(2022年度 南渡田地区拠点整備基本計画策定)
 (2023年度 先行地区(北地区北側)の事業パートナーがヒューリック株式会社に決定)
 2024年度 事業着手(既存建物の解体、道路等基盤整備)
 2027年度 まちびらき(R&D型賃貸ラボへの入居開始)

●土地利用イメージ



※早期事業化に向けた区域の設定をエリアとし、想定されるおおむその範囲をゾーンとして示します。
 ※エリア・ゾーンの誘導イメージを示しており、具体的な導入機能については今後検討します。

●北地区北側のイメージ



●北地区北側の全体配置図

※記載の面積は概へ床面積となります。なお、実際の配置・配線は今後変動する可能性があります。

	研究棟A	研究棟B (コミュニティ(複合型))	研究棟C	寄宿舎棟	商業棟
主要用途	研究所	研究所、店舗	研究所	寄宿舎	店舗
延べ面積	約 13,190 ㎡	約 60,360 ㎡	約 21,970 ㎡	約 3,990 ㎡	約 7,600 ㎡
建物高さ	約 33 m	約 57 m	約 51 m	約 24 m	約 10 m

●位置図



南渡田地区へのアクセス

- 「川崎」駅まで
 電車「品川」駅から-----直通約9分
 電車「横浜」駅から-----直通約8分
- 「京急川崎」駅まで
 電車「羽田空港第3ターミナル」駅から--直通約13分
- 「JR南部支線浜川崎」駅まで
 電車「川崎」駅から-----約11分
 南武線「尻手」駅で南部支線(浜川崎行)乗換。

- 徒歩「浜川崎」駅から-----徒歩3分
- バス「川崎駅東口」から「JFE前」-----約15分
 バス停から徒歩1分
- 東京方面から
 首都高速横羽線「浜川崎出入口」から1分

※電車による所要時間は日中平常時のもので、乗り換え・待ち時間は含みません。また、時間帯により異なります。
 ※徒歩分数は80mを1分として計算(端数切り上げ)した概測時間です。
 ※車による所要時間は時速40kmで走行した場合で換算し算出したものです。掲載の所用時間等は、時間帯、道路等の混雑状況によって異なります。